

校長室からこんにちは

令和5年5月23日（火）



さすが6年生！

校庭で、黄色い帽子の1年生応援団が見守る中、1・2校時に6年生の運動会が行われました。ほぼ2時間たっぷり使って、4競技を行いました。暑さは、やはり相当なもので、季節がら、暑さにまだ慣れていない子供このことが心配でした。そのため、都度都度テント下での水分補給を入れました。運動会の運営は、さすが6年生。運動会が始まる時に、教員から、「では、あとは6年生に任せます」と言ってマイクを渡されてからは、すべて自分たちで進行していました。また、教師の指示だと、だらだらしがちですが、友だちが進行しているから、集合や休憩の際、短時間でぱっと移動しているのもさすがでした。



学年ごとの運動会のため、今回の6年生も4つの競技に取り組むことができ、さらに、棒引きの引き分け延長戦を行うこともできました。教室に戻った子供たちは、口々に「疲れたあ！」「暑かったあ！」と、全力を出し切った様子で、想像以上に疲労困憊と言った感じでした。コロナ禍前の最後の全校一斉運動会の時に、熱中症の子供を5名出してしまったことの反省と、昨今の尋常ではない暑さのため、子供たちを、熱中症から守ることを第一に考え、学年ごとの運動会としました。本当は、土曜日開催にしたいのですが、運動会を1日で納めるためには、ひと学年の競技時間は30分程度がぎりぎり上限です。同時に、全校一斉で行っている学校の暑さ対策は、競技している子供以外は教室待機となり、当日子供は他学年を参観できません。では、秋に開催すれば、とも考えました。しかし、秋に開催するとなると練習にかなりの時間がかかる芸術ウイークの劇（3年生6年生）や5・6年生の御神楽は内容を変更せざるをえません。また、6年生は秋に日光移動教室もあります。それならと春に芸術ウイークをもってくると、今度は図工や家庭科の作品が間に合わず、5年生は秋の連合音楽会の演奏・合唱も期間が開き、モチベーションが保てません。

このように、さまざまな理由から、総合的に考えて、断腸の思いで今回のやり方になりました。

別途メールでお知らせした、運動会アンケートから、改めて検討してまいります。